

2025  
年度版

## さあ、動きだそう!

多くのガイダンス・講座・セミナーに参加して情報や体験を共有し、教師になろう!

祝  
山梨大学入学

STEP 1

## 1 年次

まずは、学校現場や子どもと  
ふれあうチャンスを  
増やそう!

START!

学生面談

教育  
ボランティア毎年度 5月～2月  
1年次～4年次参加可能

教員就職直前講座

## 卒業

教員就職・教職大学院進学等  
一人ひとりの異なる  
新しい世界がはじまる

GOAL!&amp;START!

学び続ける  
教師

STEP 2

## 2 年次

新しいことにチャレンジして  
さらに成長! 教育実習に  
備えよう!新入生合宿研修  
大学生生活の  
過ごし方を考えよう!教育ボランティアスタートセミナー  
教育ボランティアガイダンス

進路支援ガイダンス

BIG EVENT  
初年次学校園体験活動大学入学後初! 1年生で学校現場体験!!  
まずは具体的なイメージをつかもう!BIG  
EVENT  
観察実習3年次の  
教育実習に  
向けて  
授業観察から  
始めます!教員採用試験  
スタートガイダンスBIG  
EVENT  
教員採用試験これまでの学びをかし、  
試験に臨もう!  
そして…先生に!!

3年次は1次試験のみ

※自治体ごとに異なります

4年次は1次・2次

3年で1次通過者は2次のみ

講座・セミナー

進路支援ガイダンス

介護等体験実習

進路支援ガイダンス  
教育ボランティアスタートセミナー  
教育ボランティアガイダンス

教師力養成講座②(2年生対象)

教育実習グループワーク

STEP 3

## 3 年次

教師としての自分発見!  
夢・目標に向かって  
本格始動!教育実習で  
教師としての  
実践力を  
高めていこう!

進路支援ガイダンス

10月～

2月

4月～

4月～6月

6月～8月

BIG  
EVENT  
教育実習4年間で最大のイベント  
実際に教壇に立ちます!進路支援ガイダンス  
進路アンケート

講座・セミナー

夏休み

進路支援ガイダンス  
就活スタート説明会教員採用試験  
スタートガイダンス  
教師力養成講座①(3年生対象)

二次対策個別指導

自分の目標に  
向かって取組の  
スタートを切ろう!

講座・セミナー・個別指導

進路支援ガイダンス  
進路アンケート  
期間採用者等研修(教師カスルアップ研修)

4月～5月

STEP 4

## 4 年次

夢・目標に向かって  
着実に前進!  
大学生生活の総仕上げ!自分のアピール  
ポイントは何?  
得意・不得意は  
どこ?企画・製作: 山梨大学教育学部附属教育実践総合センター  
制作協力: 「ACTION PLAN」 学生検討委員の皆さん●このACTION PLANは令和6年度山梨大学戦略・公募プロジェクト-教育プロジェクト-「山梨大学教師塾プログラム2024」により作成しました。なお、このプログラムは皆さんの教師力向上を目指したものです。  
●教育学部での教職支援は、教職支援室、進路支援委員会、教採対策WG、学部長補佐会、微典会、実践センター等が連携して行っています。詳細についてはキャリア部の「教職支援等年間スケジュール」を確認してください。



1年次



## 教育ボランティア

1年次～4年次

社会参加実習としての単位認定もあります。

私は2年生の1年間、公立の小学校で教育ボランティアに参加しました。主に低学年と中学年の授業に入り、児童との距離感や発達段階に応じた支援の方法の違いなど、難しさを感じる場面も少なからずありました。しかし、それは実際の教育現場を間近で見たからこそ感じられたものだと思います。また、その難しさ以上に教室に入ったときの「先生！」と満面の笑みで駆け寄ってきてくれる姿や、帰るときに両腕を掴み「次はいつ来てくれる？」と一斉に聞いてきてくれる姿など、教師という仕事の魅力を実感する日々でした。(小学校教員養成特別教育プログラムM.H)

2年生の前期に、附属小学校の授業補助と大学内の子ども図書館でのボランティアへ、4年生の前期に市内の小学校の授業補助のボランティアに参加しました。最初は緊張していたのですが、子どもたちの元気な様子を見て私も積極的に子どもと関わり理解を深めることができました。また、ボランティアでは現場で働く先生方の様子を見ることができるので、言葉掛けの仕方や授業での工夫など多くのことを学ぶことができたのも勉強になりました。これらの経験を活かして教育実習では児童に「先生」としてどう関わっていくべきか考えることができました。(小学校教員養成特別教育プログラムA.I)

### ◆ICT支援学生

ICT支援学生は、附属小・中学校で児童生徒が授業中に扱うICT機器の支援を行う活動です。主に、授業中に児童生徒の様子を見て回りながら困っている子に対する支援を行います。他にも隔週でICT支援学生の研修もあり、Googleツールの使い方や、活動報告を行います。ICTの扱いに不安を抱えていても、研修等で学びの場があり、支援体制が整っているため、安心して参加できる活動だと思っています。(幼小発達教育H.T)

### ◆地域学習アシスト

1年間同じ学級に入り、子どもたちの学習の支援を行う活動です。活動で気になることや、悩みなどを、学部の先生方や他の学生、教職大学院の先生方や大学院の先輩方(現職の先生もいらしゃいます)と話し合うことができる点が、教育ボランティアとの大きな違いです。活動を行った後、その日にカンファレンスを行うので、細かな悩みも相談することができます。経験豊富な先生方からの助言をもとに支援を行うことができるので、これまでより教員としての視点で考えることができるようになります。(科学教育N.K)

## 初年次学校園体験活動

学校現場を自分の目で見ることによって、講義ではわからない教育現場での様子を肌で感じることができました。実際、生徒がどういったことに興味を示すのか、先生は生徒とどのように接しているのかなど、子どもとの関わり方について学ぶことも多かったです。また、活動後すぐに仲間や先生方とフィードバックを行ったことが、より良い授業づくりを検討することにもつながりました。2年後の教育実習や教師としての将来像が少しずつ明確になってきたと感じています。(生活社会教育T.W)



2年次



## 観察実習

附属小中学校で計6回、先輩方の授業を観察し、大学内では得られない様々な気づきを得ることができました。教師としての子どもたちに対する振る舞いや授業の構成など、非常に勉強になり、教育実習に向けての意識が高まりました。一方、来年は自分の番であるということに対し、先輩方のような授業ができるのかと不安が募りました。迫る教育実習に向けて、少しでも不安が取り除けるように学びを続け、時には先輩の力も借りながら自分らしさを忘れずに、前向きに準備を進めていこうと思います。(言語教育M.K)

介護等体験実習では、附属特別支援学校・地域の高齢者施設へ行き体験活動を行いました。普段私たちは大学の講義が主な学びの場ですが、実際に学校や施設に行くことで、授業で学んでいることに加えて、現場ならではの新たな捉え方をすることができるようになりました。特別支援学校ではどのように関われば児童生徒がスムーズに活動に参加できるかということを学びました。高齢者施設では目上の人に対して敬意の念を持ちながら関わる大切な体験をさせていただきました。どちらも貴重な体験となりました。(障害児教育I.O)

## 介護等体験実習

3年次



## 教育実習

私は前期に公立小学校、後期に附属幼稚園で実習を行いました。小学校実習では、授業づくりに不安がありました。しかし、先生方にご指導していただいたり、経験を積んだりしていく中で少しずつ慣れてきて、日々成長を感じることができました。幼稚園実習では、観察や遊ぶことを通して、子どもたちの感じている思いや、遊びに見出す楽しさを見取ることができました。どちらの実習でも、それぞれの楽しさ、やりがいを感じることができ、とても良い経験になりました。(幼小発達教育K.H)

小学校と特別支援学校で、それぞれ3週間の実習をさせていただきました。始まるまでは緊張と不安でいっぱいでしたが、いざ始めると毎日が楽しく、充実した3週間でした。もちろん大変なことや、思い通りにいかないこともあり、悔しい思いをしたこともありました。しかし、現職の先生方が助言やサポートをしてくださるため、色々なことに挑戦し続けることができました。授業後に子どもたちが、「先生、楽しかった」と言いに来てくれた時の喜びは忘れられません。実習を通して、現場ならではの貴重な学びを得るとともに、改めて教職の魅力に気づくことができました。(障害児教育Y.S)

4年次



1年次～4年次

## 教員採用試験に向けて

様々な教職支援が行われています。  
参加された方の合格率は  
とても高い状況です。

教職支援室では、担当の先生が2次試験のための小論文や個人面接を指導していただきます。私は最初、1対1での指導は緊張でいっぱいでしたが、指導していただく中で、先生に自分の不安を打ち明けると強みや弱みを知ることができ、的確なアドバイスもいただけるので自信や意欲につながりました。試験対策講座では、多くの先生方からアドバイスをしていただけます。さらに同じ教員志望の学生と練習ができるので、面接や模擬授業では上手な人の真似をしてみたり、小論文では表現を新たに知ったりする中で自分を見つめ直すことができました。不安は大きかったですが、合格することができました。(障害児教育R.K)



教職支援



教職キャリア・ポートフォリオ

## 教職大学院への進学

さらに学びを深めるために！

教師としての力量を更に高めるために教職大学院への進学を決意しました。大学院では、講義を通して多くの理論を学び、週に1回の実習を通して様々な授業実践等を行いながら研究を進めることができるなど、学部 비해、より実践的で深い学びができる環境が整っています。また、様々な校種・教科が専門のストレートマスターや現職の先生方と交流する中で、新たな視点に気づき、視野を広げることができました。教職大学院を更なる高みを目指すための選択肢の1つにしていいただければと思います。(教職大学院T.H)



## 教職支援室等の講座受講生の声

### ◆学内模試

・普段、一人で勉強していて、節目というのがつけないため、模試は本当にありがたいです。解説も充実していて、勉強がはかどります。ありがとうございました。

### ◆論作文作成演習

・論作文について全くイメージが持てていなかったのが、具体的な書き方などを詳しく知ることができて非常に参考になった。  
・論作文の文章構成の仕方や、なぜ論作文が教員採用試験に課されるのかという話を聞くことができてよかったです。

### ◆二次試験ブレ対策講座

・個人面接や模擬授業、場面指導など様々な対策について最終チェックできたことと、自分の課題点を見つめることができたのでよかったです。  
・先生方に励ましていただき、本番への意欲が高まった。私の良いところや課題をたくさん見つけていただきとても勉強になった。

Instagram  
教職支援室  
公式アカウント

教職支援室の  
Instagram  
フォローしてね！

